



写真提供：佐藤正勝カメラマンさん

MediaDoKageyamaRacing

参加台数 31台

7月20日 DUNLOPF4トレーニング3本

7月21日 OTG F4トレーニング2本

7月22日 予選(30分間)1stタイム：10位

2ndタイム：10位

第1戦決勝(15LAPS)：6位

7月23日 第2戦決勝(15LAPS)：リタイア



～木曜日～

ドライ

6位・13位・10位

1.2本目の走行は中古タイヤで走り、Newタイヤを履いた時に向けてセッティングを進めました。先日のテストではリアが不安定だったのでフロントのプレロードをかけて走りました。その時点ではまだリアが出る動きが早かったのでリアをもう少し安定させようと、リアのウイングをホール6から8へ変更しました。しかし、2ホール変更した結果はアンダーステアになってしまいました。

路面も良くなった事を考え、また先程アンダーステアを感じたこともあり、リアウイングをホール5にて走行しました。出だしは良かったものの、どんどんオーバーステアが酷くなり、走りにくくなってしまいました。レース中でも考えられる事だったので、その状況での練習に徹しました。元よりも全てを手前に心がけることにより状況は良くなってきました。次のNewタイヤに向けてはダウンフォースをつけ、その分リアを動かすためにリアの車高を2mm上げ、リアウイングをホール7に変更しました。

3本目はNewタイヤを履き、セッション後半まで赤旗続きでしたが最後の方にアタックができました。

全体的にグリップがとてもあがり、2本目まで気にっていたヘアピン立ち上がりのトラクションもとても良くなっていましたが、全体的にアンダーステアの傾向でした。特にブレーキを使わないコーナーでのアンダーステアが気になったので、走行後にアドバイザーさんと車載映像を見て頂きながら、金曜日に向けてのセットアップを考えました。

～金曜日～

ドライ

7位・12位

1本目

45分の走行枠だったので、セッション前半は昨日のNew落ちのタイヤでセットの確認をしました。昨日のアンダーステアが消え、オーバーステアになっていたNewタイヤを履いたら丁度良くなると思い途中でNewタイヤに変えました。全体的にグリップも上がり良く感じましたが、それでもまだ少しオーバーステアが強かったです。

2本目に向けてはリアの車高を2mm下げました。

2本目

1本目と比べて時間的にも気温・路温がとても上がりました。

1本目と同じようにセッション前半は1本目のNew落ちのタイヤで走り、途中でNewタイヤに変えました。

タイヤを変えたことでタイムを大幅に上げたかったのですが、あまり上げられませんでした。レースに向けてはセッティングは少しの変更を考えていますが、しっかりと一晩考えて明日に臨みます。

～予選～

ドライ

昨日のセットから少し変更し、良い感覚を得ることが出来ました。ブレーキを使わずアクセル開度の調整だけで曲がるコーナーでは、よりアクセルを踏めるようになっていました。今週はずっとセッション前半に良いタイムを出す事が出来ていたのですが、赤旗が出る前にベストタイムを記録できました。しかし、予選時間が延長となった際にはタイムを更新出来ませんでした。周りがタイムを上げている状況だったのできちんと自分もあげられるようにならなければなりません。後もう一越え。なんとか出来るようにします。



予選結果： 第1戦スタート10位
第2戦スタート10位

第7戦 ドライ

今回の決勝はとても荒れました。スタートでは順位は変わりませんでした。その後のコーナーでトップグループが荒れたところを上手く避けきり順位を上げられました。無傷で切り抜け順位を上げられて良かったです。その後は9周と長い時間をセーフティーカーが導入され、30分ルール（決勝レースは規定周回数又は30分間）が採用された為にセーフティーカー明けは4周と本当のスプリントレースになりました。リスタートも上手く行きましたが、前車を抜くまでには至らず、そのままの順位で終わりました。

決勝結果：10位→6位

第8戦 レイン

応援して頂いたのに申し訳ございませんでした。雨の中セーフティーカー導入によるスタートとなりました。しかし、セーフティーカーが解除される週の最終コーナーで上位陣からペースが落ちた際に後車に左リアをヒットされ、そのままリタイヤとなってしまいました。

とても悔しいです。

次戦は2週間後の富士戦です。予選の課題や今回の悔しさをきちんと結果に繋げられるようにします。

決勝結果：10位→リタイヤ



～まとめ～

今回のレースはとても荒れたレースでした。とはいえ逆に言えばチャンスも多かったです。その中でチャンスを活かしたレースとチャンスの前にレースを終えてしまったレースだったので、両方を活かせず悔しかったです。

ですがまずは予選です。今回の予選は途中まで前戦のような失敗ではなく寧ろ自分の中では成功でした。トレーニング走行時から赤旗が多く出る中でセッション前半にタイムが出る事が多かったです。予選でも実際に赤旗が多く出る中で序盤にベストタイムを出していましたが。しかし予選が延長になった際にはタイムアップする事が出来ず、順位も下げてしまいました。今回の予選からの課題は予選前半にタイムを出す時の上げ幅、また延長になった際にしっかりタイムを出し切る事です。この二つの課題をもう一越えして予選でもっと良い場所を確保します。

また決勝に関してはセーフティーカーでの走行が多く、レースの周回が少なかったです。日曜日はレースが出来ませんでした。土曜日のセーフティーカー明けのスプリントレースは自分の中でリスタート以外は課題が大きく残りました。本当にあと一越え。とにかく攻め続けます。

次戦までの時間が短いのでしっかりと考えをまとめ、5月のレースのリベンジを含め良いレースをします。

今回も応援して頂きありがとうございました。

また次戦も応援宜しくお願い致します。

篠原拓朗

写真提供：佐藤正勝カメラマンさん

